

裁判員等経験者の意見交換会(令和6年2月22日開催)

この度、奈良地方裁判所において、裁判員等経験者6名と法曹4名(裁判官・検察官・弁護士)との意見交換会を実施しました。

裁判員等経験者から出された意見や感想の概要を紹介します。



◆裁判員裁判を経験されて

- ・ 裁判の過程を実体験することで法律を身近に感じる事ができたし、ニュースや新聞を見る視点が変わった。
- ・ 資料が分かりやすかった。争点が整理されており、難しい法律用語についても分かりやすく説明されていた。
- ・ 裁判官や検察官が早口でメモが追いつかないところがあった。日程が決まっていて、それに合わせて評議を進めようとしている印象を受けた。
- ・ これまでこんなに考えたことがないほど、他の人の人生について考えた。難しかったが、評議の中で様々な意見が出て、非常によい議論ができた。裁判官が配慮してくださったので、意見が言いやすかった。

◆裁判員裁判に関する裁判所の広報活動について

- ・もっと広く知ってもらうために、SNSや動画配信なども、もっと積極的に活用すれば良いのではないかな。
- ・学校で裁判員裁判について紹介すれば、将来、裁判員に選ばれたいという興味を持つきっかけになるのではないかな。

◆法律が改正され、令和5年から18歳、19歳も裁判員に選任されることになりました。若年層へのアドバイスをお願いします！

- ・ニュースや新聞など報道を見る目が変わった。若いときに裁判員裁判を経験できれば、もっと視野が広くなり、社会全体を見れるようになると思う。自身のためにもなるのでぜひ参加してほしい。
- ・若い方の意見を裁判所の人も積極的に聞きたいと思っているし、自分の意見が無駄にならず、大事な1票として生かされるから積極的に参加してほしい。分からないところは教えてもらえるので、安心して参加してほしい。



ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

いただいたご意見等を今後の裁判員裁判に生かしていきたいと思ひます。
今後とも裁判員制度へのご理解とご協力をお願いします。